

会場	第 1 回		第 2 回		参加者計
	実施期日	参加者数	実施期日	参加者数	
高湯	1月9日	36人	1月30日	20人	56人
	1月23日	55人	2月13日	37人	
	1月9日	44人	1月30日	41人	
猪苗代	1月9日	44人	1月30日	41人	85人
	1月23日	31人	2月13日	17人	
東山					48人
計		166人		115人	281人

(6) 銀婚式祝賀事業

昭和39年度からの継続事業として、昭和40年度中に銀婚式（結婚25年）を迎えた組合員に対して、毎月該当月に支部長の祝辞を添えて記念品を贈呈し祝福した。

本年度の該当者は、149名（男140名、女9名）であった。

(7) 教職員レクリエーション大会助成

共済組合員相互の親睦と健康増進をはかるため、県教委、教員組合、医科大学等で開催するレクリエーション大会（球技大会、運動会、囲碁、将棋等）に総額425,000円を交付した。

各出張所別の助成額は次のとおりであった。

（配分額は均等割額と組合員比例額の合計額である。）

助成金配分表（組合員数は40.61現在）

出張所	組合員数	配分額	出張所	組合員数	配分額
信夫	2,280人	35,000円	耶麻	1,140人	23,000円
伊達	1,003	21,000	尚沼	1,039	21,000
安達	1,165	23,000	石城	3,299	46,000
郡山	2,004	32,000	双葉	919	20,000
岩瀬	852	19,000	相馬	1,463	26,000
西白河	1,092	22,000	事務局	193	12,000
東白川	718	18,000	医科大学	785	19,000
石川	726	18,000	合計	22,233	425,000
田村	1,235	24,000			
南会津	699	18,000			

(7) へき地医薬品の配布

へき地に勤務し医療施設に恵まれない教職員に対して、1セット1,200円の救急医薬品を毎年配布している。

昭和40年度に配布を受けた組合員は2,540名であり、へき地勤務者の大きな福音となっている。

第2節 福島県教職員互助会事業概況

県下教職員の相互共済、福利向上を目的として発足した互助会は発足以来その目的達成のため諸給付事業の推進並びに充実に努力を続けてきたが、近年にいたり著しい医療費の増高により互助会運営も、昭和39年度を境としてたいへん苦しい状態となった。このまま放置すれば急激に多大の赤字が累積し、昭和40年度で

は44,0304円という、この制度としてこれまで類をみなかった巨額の赤字が予想される。この結果家族医療費の医師に対する支払いは著しく遅延し県医師会との支払契約も確保し得ない結果を招来し、しいては会員会員並びにその家族の福祉に甚大なる悪影響を来すこととなる。このような実情から事業内容の再検討を行なった結果、会員の経済力に応じた適正な掛金と事業費の過大支出を規正することにより収入増と支出減の両面から極端でない改正を昭和40年10月1日より実施することにした。これにより県補助金会員1人当200円の増額と県援助の27,280千円の貸付金の貸与により遅延していた家族医療費を整理し県医師会との最悪の事態を回避することができた。

以下実施した互助会規約および給付規程改正の内容と事業実績を記してみると

1 互助会規約給付規程改正内容

- (1) 会員掛金を給料+扶養手当月額合計額の $\frac{1.25}{100}$ を $\frac{1.5}{100}$ に改めた。
- (2) 家族医療補助金を法定給付額の $\frac{80}{100}$ を $\frac{60}{100}$ に改め、自己負担の初診料および入院食料を医療費全額の10%を自己負担に改めた。
- (3) 退職金を会員年数1年につき「給料日額の3日分」を「給料日額の2日分」に改めた。
（給料日額は会員退職時における掛金の基礎となった給料月額 $\frac{1}{30}$ とした。）

2 昭和40年度互助会事業実績

	収入	件数	金額	割合
収入	納付金		136,576千円	88.3%
	県補助金		17,455	11.2
	その他の収入		480	3
	収入合計		154,511	
支出	収入	件数	金額	割合
	家族補助金医療	件数%	115,072千円	%
	死亡弔慰金	42	1,600	
	会員分被扶養者分	281	680	
	出産見舞金	472	7,084	
	会員分配偶者分	882	8,854	
	災害見舞金	29	1,058	
	結婚祝金	608	4,828	
	退職金	575	25,499	
	事務費		10,268	
支出合計		160,598		
累益	単年度計		△ 6,087千円	
	累計		△ 25,660	

昭和39年度で

再建計画をしない場合
再建額は △ 44,030千円
18,370